

# 平成30年度取組状況

ものづくり工学科 一般科目 助教 宮田 航平

取組状況	
教育	<p>①「国語Ⅰ」「日本語表現法Ⅰ」AL教材の開発・授業実践 シラバスに記載した到達目標の達成に向けて、能動的な学習を促すためのワークシートを作成し、個人やペア、グループでの活動を行った。国語に苦手意識を持つ学生でも段階的な理解が得られるよう、発問や助言に工夫を凝らした。またワークシートで学習状況を把握し、学生の理解度を確認することで、適切な課題を設定した。</p> <p>②「国語Ⅰ」漢字確認テスト、口頭発表の実施 毎時間、授業の冒頭で漢字テストを実施し、語句の意味と併せて定着を図った。また1分間スピーチも実施し、従来の「国語」の授業で不足がちであった「話すこと」についても意識を促すとともに、グループ活動の学習成果を発表する際の指導にも結び付けた。</p> <p>③「日本語表現法Ⅰ」評価用ワークシートの作成・相互評価の実施 ペアワークとして面接の練習を行う際に、平成29年度の授業を活かして作成した評価ワークシートを使い、学生による相互評価を行った。</p>
研究	<p>①「国語科教育は「戦争」をどう語るかーティム・オブライエン(村上春樹訳)「待ち伏せ」を視座にー」(国語教育史学会例会、早稲田大学、2018年7月)</p> <p>②「「読者」はどこにいるか——児童文学の「表現」をめぐって」(『日本児童文学』小峰書店、2018年7月)</p> <p>③「ブックラック」(『日本児童文学』小峰書店、2018年7月)</p> <p>④「〈3.11〉と児童文学——その「重ね合わせ」をめぐって」(児童文学評論研究会／編『児童文学・21世紀を読む』2018年8月)</p> <p>⑤「児童文学が語る「平成最後の夏」——「戦争」の語り方をもとめて」(『日本児童文学』小峰書店、2018年11月)</p> <p>⑥「ブックラック」(『日本児童文学』小峰書店、2018年11月)</p> <p>⑦「戦後児童出版メディアとあまんきみこ——《童話の系譜》再考」(日本児童文学学会研究大会、文教大学、2018年11月)</p> <p>⑧「「ブックガイド」の先に見える風景」(児童文学評論研究会、2018年12月)</p> <p>⑨「北沢楽天とは誰か——漫画・子ども・手塚治虫」(『信州大学附属図書館研究 臨時増刊第二号』2019年2月)</p>

社会貢献	<p><b>【学内】</b></p> <p>①「中学生のための小論文講座」(講師・コーディネーター、OPC小中学生対象講座、全4回、2018年8月)</p> <p>②「児童雑誌『赤い鳥』創刊100周年～大正・昭和期の「童話」を読む～」(講師、OPC一般対象講座、全4回、2018年11-12月)</p> <p><b>【学外】</b></p> <p>③「『赤い鳥』と童話の系譜」(企画協力、豊島区立目白図書館特別展示、2018年6月23日 - 7月19日)</p> <p>④「あまんきみこの童話はどう作られてきたか——「出発期」の初出誌から振り返る(あまんきみこさんをお迎えして)」(企画・公開対談、第6回あまんきみこ研究会特別企画、2018年9月8日)</p> <p>⑤日本児童文学学会(運営委員)</p> <p>⑥あまんきみこ研究会(会計・会務委員)</p> <p>⑦三省堂高等学校国語教科書編集委員会(編集委員)</p>
------	--